

平成 23 年 12 月 14 日

クラブ会長各位

クラブ会長エレクト各位



ロータリー財団管理委員

東日本震災復興基金日本委員会委員長
小沢 一彦

拝啓 師走に入り慌ただしい毎日ですが、皆様方には益々ご清祥のこととお慶びを申し上げます。平素は国際ロータリーの財団活動にご協力いただきまして有難うございます。

この度の東日本の大震災、大津波そして原発事故は、国内外の厳しさの下で、まさに 国難の様相を呈しており、職域のリーダーとして日本のロータリアンは避けることの出来ない問題です。ロータリー財団管理委員会は、『東日本震災復興基金日本委員会』を承認し、東日本の被災現地の要望に応えた効果的な救援プロジェクトが広範に展開されています。（ロータリーの友、11月号17頁、12月号24頁）

また、ロータリー財団は、東日本の震災復興の大事に鑑み、日本の全ロータリアンが復興支援に参加できるように、ロータリー・カードのロイヤリティ（カード利用額の 0.3%とゴールド・カード年会費 10,500 円のうち、3,000 円）を復興基金として利用するよう決定しました。（2012 年 12 月 31 日まで）

私は、日本の総てのロータリアンが、ロータリー・カードを取得し、身分証明書として日常生活で使用して復興支援に協力して頂きたいと考えています。貴クラブにおかれましても、カード普及のために、早急にロータリー・カード担当者（例えばクラブ財団委員長）の任命をお願いします。担当者には、添付のパワーポイント、資料を参考にしてロータリー・カードの意義について理解を深めて下さるようお願いいたします。

カード利用のロイヤリティは、僅かですが『9 万人のロータリアンが夫々、1 万円を現金でなくカードで支払うと、270 万円が復興基金へ寄付さ



れます』 チリも積もれば、山となり、多額の復興基金が得られるのです。今、被災地の方々とライフラインへの思いを共有して、貴クラブ及びご自宅、会社などのライフライン（電気、水道、ガス、食料、電話など）の料金をロータリー・カードを通して決済することをお願いします。日頃から、ロータリー精神である思いやり（誠意）の心を一般社会の人たちに理解して頂くことは重要で、カードの利用は絶好の機会です。

来る 2012 年 7 月から、田中作次国際ロータリー会長年度が始まります。田中会長エレクトは全地区ガバナーに『全ロータリアンがロータリー・カードを取得し、日常生活で家族と共に利用し、復興支援に協力を！』とメッセージを送られました。貴クラブの皆様もご家族と一緒に、カードを身分証明書として、誇りを持って立ち上がり、オール・ジャパンで日本の復興支援活動をして、田中会長年度の盛り上がりの世界のロータリアンに示したいものです。ご協力をよろしくお願い致します。

貴クラブの来年度益々のご発展を祈念いたしております。

敬具

日本のロータリアンの皆様へ

『ロータリー・カードで東日本の復興を！』

A handwritten signature in blue ink that reads '小沢一彦' (Shirohiko Otsu).

ロータリー財団管理委員

小沢 一彦

RI Japan Office

NS3 Building 1F

2-51-3 Akabane

Kita-ku, Tokyo

115-0045 Japan

tel (81-3) 3903-3161

fax (81-3) 3903-3781

www.rotary.org

添付文書；

- 2011-12 年度ロータリー財団地域セミナー、パワーポイント資料：
『日本のロータリアンの皆さんへ、ロータリー・カードで東日本の復興を！』
- ロータリー・カード・コーディネーターからのメッセージ： 「一人一人のロータリー・カード利用が、東日本の災害復興を助けます！」